

予土線に親しみ、大満喫の1日

◎よどせん感謝祭2016

よどせんマルシェで買い物を楽しむ



「よどせん感謝祭2016」は9月10日、松野町のJR予土線松丸駅周辺で開催されました。会場では、予土線沿線地域の特産品や鉄道グッズなどの販売を行う「よどせんマルシェ」を実施。その地域ならではの食材を使用したグルメが数多く並び、訪れた人の心を奪っていました。また、松丸駅周辺の名所を回るスタンプラリーでは、お楽しみ抽選会付きということもあり、多くの来場者が挑戦。全てのスタンプを押し終えた参加者たちは、一等賞が当たるように願いを込めて、くじ引きにチャレンジしていました。

心を込めて育てた果実、みんなで収穫

◎泉小学校ぶどう収穫祭

友達と協力してぶどうを収穫



9月8日、泉小学校の秋の恒例行事の一つである「ぶどう収穫祭」が行われました。20年以上の歴史があるこの収穫祭。今年も伝統を受け継いだ5年生3人が中心となり、一つ一つ大切に育てました。ビニールハウスに足を踏み入れた児童たちは、見上げた先にある約170房のぶどうから、お気に入りのぶどうを選び、嬉しそうに収穫していました。収穫後、児童全員で収穫したばかりのぶどうを試食。児童たちからは「甘くておいしい」という言葉が溢れ、手を休めることなく、ぶどうを頬張っていました。

心と心をつなぐ、日本の歌の力

◎歌いつごう日本の歌

「野にさく花のように」を合唱



「歌いつごう日本の歌」は9月15日、泉小学校体育館で行われました。講師は、メゾソプラノ歌手の豊田千恵子さんと、伴奏者の谷口敬子さん。「赤とんぼ」や「ふるさと」など、音楽の教科書に載っている歌を中心に、世代を超えて受け継がれてきた日本の歌の素晴らしさを児童たちに伝えました。児童たちは2人が奏でる優しい歌声と音色に、じつと聴き入っていました。最後は、豊田さんの歌唱指導を受けながら、児童全員で「野にさく花のように」を合唱。会場には、児童たちののびのびとした元気な歌声が響き渡っていました。

颯爽と国道381号線を駆け抜ける

◎四万十・南予横断 2リバービューライド

景色を楽しみながら、仲間たちと走行



9月11日、「四万十・南予横断2リバービューライド2016」が行われました。愛媛県と高知県をつなぐ国道381号線を舞台に開催された本イベント。この日は、県内外から約400人の自転車愛好家が参加しました。参加者たちは、上級コース(約172km)と、中級コース(約61km)に分かれ、宇和島市の道の駅「みま」を出発し、松野町、四万十市、四万十町、そして鬼北町の景色を堪能しながら走行していました。また、道の駅森の三角ぼうしでは「きじ鍋」が振る舞われ、参加者たちの疲れを癒していました。